

## 2学期終業式あいさつ（12月25日）

皆さんおはようございます。アフターコロナで迎えた2学期に実施した体育祭、農業祭では皆さんが主体的に取り組み、活躍してくれました。とくに4年ぶりに入場制限なしとした農業祭は、小雨が降る中、早朝より多くのお客様に会場いただきましたが、皆さんの丁寧な接客に満足していただいたと思います。先ほど表彰伝達を行いました。この2学期もさまざまな分野での皆さんの活躍が目立ちました。カヌー部、ウエイトリフティング部の鹿児島国体、日本農業クラブ熊本全国大会、そして今月23、24日と三重県で開催された全国高校ボーリング選手権大会にも環境3年の松浦さんと中山さんが出場しました。本校の生徒が全国を舞台に活躍できることは本当にうれしいことです。

そうした本校の生徒の活躍を地域の方も注目していただいています。11月に本校のカヌー部員が神門川の整備事業にあわせて川に浮いている浮遊ゴミの清掃活動に参加している様子がテレビで放映された際にそれを見ていた方からこのような手紙をいただきました。その方は、89歳で本校の前身である出雲産業高校を卒業された方で皆さんの大先輩にあたります。

前略 カヌーで浮遊ゴミの回収、何と素晴らしい活動でしょうか。私は只今89歳となり体も少し動きが不自由となりましてゴミ拾いも思うにまかせませんが、いつも気に掛けていることの一つです。実は貴校がかつて出雲産業高校として農工商が一つの学校として存在していた時の卒業生ですから、いわば後輩たちの素晴らしい活動を見たわけです。近年特に貴校の各方面での生徒の活動が目覚ましく、特にスポーツ面での活動が目覚ましく、常に注目しております。今日のテレビで詳細報道され、世間一般の人からも感謝・賞讃の声が上がっていると思います。自分のしたことの様に嬉しく誇らしく、つついとお礼をとこの文をしたためました。生徒の皆様へぜひ一言お礼をお伝えくださいませ。

という内容です。創立90周年を迎え、まさに多くの卒業生の皆様方に見守られていると実感し、そうした方に今の高校生の皆さんが生き生きと活躍している姿を見ていただきたいと切に感じました。

話は変わりますが、今年の年間流行語大賞に選ばれたのは、アレ(A.R.E.)でした。この言葉は、今年38年ぶり2度目の日本一となった阪神タイガースの今年のスローガンでした。A.R.E.とは“明確な目標(Aim!)に向かって、野球というスポーツや諸先輩方に敬いの気持ち(Respect!)を持って取り組み、個々がさらにパワーアップ(Empower!)することで最高の結果を残していく”の頭文字をとったもので、そこには岡田監督の「アレ=優勝」への強い決意が込められていたそうです。実際そのスローガン通り日本一に輝いたのは素晴らしいことだと思います。

皆さんにとっての「アレ(A.R.E.)」って何ですか。まず明確な目標をもつことが大事になります。90周年の記念講演の講師の植松努さんもお母さんから思ったらそうなるという意味の「思うは招く」という言葉を教えてもらい、思い続け夢を叶えてこられました。そして「どうせ無理」という言葉を「だったらこうしてみたら？」に変えることで夢は叶うと教わりました。「どうせ無理」という言葉は、人のやる気や可能性を奪います。興味を持たなくなり、やる前にあきらめ、考えなくなってしまう。一方、「だったらこうしてみたら？」という言葉は、人の可能性を広げます。やったことが無いことに挑戦し、あきらめず、より良くを求めるようになります。友達同士の会話でもお互いに夢を話し、お互いに「だったらこうしてみたら？」って言いあえたら全員が叶います。本校でもぜひ皆さんで「だったらこうしてみたら？」をはやらしていつてくれることを期待しています。

そのためにも皆さんは、高校での3年間、いろいろな目標に向かって、いろいろなことにチャレンジし続けてください。経験は、自信に繋がり、自信はステップアップに繋がります。また目標を持つことで努力することができます。努力は最大の力だと私は思います。そして、自分に「絶対、大丈夫」と言い聞かせてください。生徒同士がお互い熱く切磋琢磨をしながら頑張り、共に成長しあえる学校でありたいと願っています。

明日から冬休みです。年度途中ではありますが、年をまたぐ休みとなります。新しい年をどんな年にしたいのかじっくり考えてみてください。また、家族へ日頃の感謝の気持ちを伝え、家の手伝いをしてください。そして、令和6年1月9日には元気に揃って新年を、新学期を迎えましょう。